

1. 訪問のご挨拶



上着などは玄関の外で脱ぎます。
ノックやインターフォンで来訪を
知らせます。

近隣の方々に訪問看護の利用を知られ
たくない方もいらっしゃるの一言挨拶し
扉を閉めます。



2. アセスメント

健康管理及び病状の観察

血圧・脈拍・体温・呼吸などをチェックし、
異常がないかを確認します。

測定前に必ず手洗いもしくはアルコール消
毒を行ってください。

血圧測定、SpO₂ & 脈拍測定、聴診や体温
測定を行います。

状態をチェックし、判断に迷うことがあ
れば上司に相談します。



3. ケア内容の説明

挨拶を済ませたら

「今日は●●●と×××を行います」
などケアの内容を説明します。

ご利用者様やそのご家族に許可を得
て洗面台をお借りします。

看護の場合



4-1. 【看護の場合】ケアの実施

ご利用者様が病気を抱えていても
可能な限り重症化させないことが
訪問看護師の仕事です。※療養指導は
もちろん、リハビリテーションも行います。
療養手帳や、服薬カレンダーを確認しながら、
生活状況、服薬状況を確認し、改善点を
一緒に考えます。



4-2. 【リハビリの場合】介護予防のリハビリ

介護予防の体操など

ご利用者様の状態に合わせて指導
を行うこともあります。

ご利用者様が楽しく続けられる
方法を考えることが訪問看護の
面白さの一つでもあります。

リハビリの場合

『訪問時の流れ』

明るい挨拶とマナー、衛生管理等もしっかりと

5. 退室

ご利用者様があとで困ったりとすること
がないように元通りの環境に戻します。
※物品の位置なども正確に戻します。
ご利用者様がけがなどをしないように
環境を元通りにします。

ご家族への利用者様の病気や介護に関す
る相談、介護方法のアドバイスも行いま
す。次回の訪問と訪問日までの注意点を
確認し、明るく挨拶を行って完了です。

